

平成30年度筑西市教育委員会 第14回筑西市学校の在り方検討委員会

1. 招集日時
2. 場 所
3. 次 第

平成30年5月30日（水） 午後6時30分～午後7時30分

筑西市下中山732番地1 下館武道館3階会議室F

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 委嘱書交付
4. 議事

報告事項 これまでの筑西市の小中一貫教育・適正配置について

審議事項 今後の筑西市の学校の在り方について

5. その他
6. 閉会

4. 議事の概要

委 員 長： まず「報告事項 これまでの筑西市の小中一貫教育・適正配置について」事務局から説明をお願いします。

事 務 局： 「これまでの筑西市の小中一貫教育・適正配置について」資料により説明

委 員 長： これまでの経緯等説明いただきましたが、明野地区での説明会後の反響や保護者間での意見というのは何かでていますか。〇〇委員、いかがですか。

委 員： その後どういった意見があったとかの話も出ていないので、反響も特に分かりません。

委 員 長： ありがとうございます。では、〇〇委員いかがでしょうか。

委 員： 私は説明会に出席することができなかつたのですが、明野中学校区の施設一体型義務教育学校について大きな反対意見は出なかつたと聞いております。その後保護者の間で、このことについて話題は出ていない状況です。話題にのぼらないというのは、反対していないのか無関心なのかどちらかだと思うのですが、おそらく無関心ではないのかと感じています。ですから今後も、保護者や地域で丁寧な説明や意見交換を継続していただいて、義務教育学校設立の機運を高めていく必要があると感じています。

委員 長： ありがとうございます。〇〇委員いかがでしょうか。

委員 員： 義務教育学校設立についてはうわさに聞く程度で、みなさん無関心の様です。どうしたら関心を持ってもらえるか、検討していく必要があると思います。

委員 長： ありがとうございます。〇〇委員はいかがでしょうか。

委員 員： P T A役員で話し合ったのですが、今の小学校4年生以上の保護者は、義務教育学校が開校する頃には子どもは中学校を卒業してしまうので、直接関係しないため関心がないようです。ただ、小学校1年生の保護者やいろいろな方と話す機会があったのですが、直接関係してきそうな方は興味を持っているのも事実です。しかし、同じ学区内でも、知っている人と知らない人がいるため、幼稚園や保育園の保護者などに広く周知していくことが課題だと思います。

委員 長： ありがとうございます。地域ではこういった議論が真剣におこなわれるに至っていないと感じました。

それでは、委員の皆様何かご質問・ご意見がございましたらお願いします。

委員 員： 義務教育学校設立が何年後になるか分からないこともあり、あまり興味のない方もいらっしゃいます。もっと盛り上げていけるよう、努力していく必要があると思います。

委員 長： ありがとうございます。ほかにどなたかいらっしゃいますか。

委員 員： 明野中学校のP T A役員に話を聞いているのですが、義務教育学校開校の頃には子どもたちは卒業してしまっているのも無責任なこととは言えないとしながらも、概ね好意的な意見が多かったです。自分たちも義務教育学校について話し合い、次の方たちに引き継いでいけたらと考えています。

委員 長： ありがとうございます。義務教育学校設立についてまだまだ周知が足りないと感じました。小学校高学年や中学生の保護者は、開校までに子どもが卒業してしまうこともあり、興味を引かないのかなと受け取りました。これから中学校区ごとに協議会を立ち上げる予定でいます。協議会ができれば、中学校区の状況に合わせて、さらなる検討ができるのかと思います。

これまでの取り組みについては以上になりますが、委員の皆様はそれぞれ保護者や学校・地域の皆様に周知していただけるよう、ご協力をお願いしたいと思います。

続きまして、「審議事項 今後の筑西市の学校の在り方について」事務局から説明をお願いします。

- 事務局： 今後の学校の在り方について、事務局といたしましては、各中学校区それぞれで現状もしくは課題が違いますので、時期はいずれにせよすべての地区において、学校・地域の代表・保護者の皆様によって組織する協議会を立ち上げていき、その地区におけるそれぞれの課題について共有ができればいいなと考えております。現状がそれぞれ違いますが、明野地区については小中一貫教育のモデル地区ということもありますので、先んじて協議会を組織いただいて、課題等を共有し、今の保護者の皆様に情報発信できればいいと考えているのですが、それについて委員の皆様にご審議・検討いただきたいと思っております。
- 委員長： ありがとうございます。協議会の立ち上げについては、行政の強制ではありません。ただ、単学級や今後複式学級が編成される可能性を考えると、果たしてこの状況が児童・生徒にとって幸せなのか、切磋琢磨や人間形成のうえでデメリットにならないか心配されます。その中で協議会を立ち上げ、課題を検討していくことが、大変必要になってくると思います。それでは、この協議会について委員の皆様がどのようなお考えをお持ちかお聞かせ願えればと思います。〇〇委員いかがでしょうか。
- 委員： 明野地区としましては、協議会を立ち上げた方がいいと思います。明野地区の当事者同士で協議したことについて、学校の在り方検討委員会で報告という形をとった方がいいのではないかと思います。
- 委員長： ありがとうございます。〇〇委員いかがでしょうか。
- 委員： 私も同意見で、学校の在り方検討委員会ですと、明野地区以外の方もおり、個別にすすめていくことは難しいと思いますので、協議会を立ち上げ話し合いをすすめていくことも大切だと思います。また、もっと保護者の方や地域の方を巻き込んで、多くの方に周知できるといいのではと思います。
- 委員長： ありがとうございます。続いて〇〇委員いかがでしょうか。
- 委員： 私も個々に協議会を設けてすすめていくのには賛成です。協議会のメンバーについては、学校の在り方検討委員会委員だけでなく、幅広く幼稚園・保育園などの先生や保護者等についても加わっていただいて、協議をすすめられればいいと思います。
- 委員長： ありがとうございます。〇〇委員いかがでしょうか。
- 委員： 私も同意見です。
- 委員長： 〇〇委員はいかがですか。
- 委員： 私も同意見です。地区によって地域性等が違いますので、明野地区で話し合わせていただいて、それ

を在り方検討委員会で報告させていただいた方がよろしいかと思ます。それから、義務教育学校の設立によって、地域との交流も変わってしまうと思ますので、協議会メンバーについて幼稚園・保育園のほかにも、今まで地域に貢献して下さった自治会長さんなどの意見を伺いながら、明野地区全体の問題として取り組ませていただきたいと思います。

委員長： ありがとうございます。みなさんが協議会を立ち上げた方が良いという意見でした。それでは、明野地区については協議会を立ち上げ、協議・検討していくことでよろしいでしょうか。

《賛成の声》

それでは、明野地区は協議会を立ち上げ、すすめていくこととします。自治会長さんとも協議し、メンバーの選出をすすめてください。

ここでアドバイザーである南先生に、ご意見をいただきたいのですが。

アドバイザー： 全国的に見ますと、さまざまな問題を抱えている学校があり、私が行ったところでは、もう複式学級ができていて全校生徒が30人というところもあります。そこまでいってしまうと、なかなか解決策が見えてこない状況です。そういった意味では、複式学級が出来ようとしている、または単学級がかなり多くなってきているという状況の中で、そろそろ考え出さなければいけないのですが、先ほどお話を伺っている限りでは具体的な話し合いが進むという状況にまだまだなっていないのかと思ます。ただこれは、期日が明確でないと人間の心理としていつかはやらなければいけないと思ってもなかなか議論がすすんでいかない。そういった意味では、早く進めないと、施設の建設や課題の検討などでだいたい4から5年かかってしまう。そうすると今の子どもたちが卒業してしまう。だけど今生まれた子どもたちが入ってくるという状況ですから、次の世代の子どもたちのことを考えてあげるのは、今の保護者・先生・地域の方々の責任だと思ます。一応期日としてはこれぐらいを目途にと位置付けてみると議論が早く進みます。「うちの子は卒業しちゃうんだけど」とか「うちの子が入ってくる時に統合される」とか、具体的な議論になることが大事です。ただ誤解を与えてはいけないところは、平成何年を目途にといったとき、それは決定事項ではないということです。一番大切なのは地域での合意、みなさんが納得するということが大切なので、期限がもうちょっと先に延びるかもしれない。ただ、議論を始めるにあたって、どこかで期限を設定しないと真剣な議論というのは始まらないんじゃないかなと思ます。

今生まれた子供たちがどのような教育を受けるのか真剣な議論が始まらないと、日本全体の課題ですが、少子化・人口減少の状況ですから、もっと厳しい状況になるはずなんです。そういったことを、今自分の立場だけの問題ではなく、将来のことだと考えて、できるだけ早くお話をすすめていただきたい。それからとてもいいなと思ったのは、明野地区で協議会をつくってひとつのモデル地域とするということ。これはとても大切なことでして、全部の学校を扱って、全部の学校を議論するという事は不可能なんですね。モデル地区、確かにほかの地区と違うかもしれないけれどモデルとして、義務教育学校ができてどうなるのか、身近な問題として議論を聞いたり、あるいは見たりして、次々とほかの地区でも真剣に議論が進むと思います。今日議論を聞いていて、筑西市としては非常にいい方向にすすむ可能性が見えてきたなと思っております。

委員 長： ありがとうございます。ここで事務局にお聞きしたいんですが、茨城の中でもすでに義務教育学校を開設しているところがあると思いますが、委員さんがそういったところを視察する計画はないんですか。やはり実際に見てみないと、ピンとこないところがあると思うんですが。

事務局： はい、委員長がおっしゃったとおり、会議の中で資料を見ているだけではイメージがわからないということは事務局でも認識しております。最近つくば市や桜川市で、施設一体型の義務教育学校が開設していることもありますので、視察の機会につきまして日程等調整いたしまして、ご提案できればと考えております。

委員 長： ありがとうございます。それでは公共施設の適正配置について担当している課長いかがでしょうか。

担当課 長： 今日の資料の中にありますが、義務教育学校についてつくば市の春日学園など県内でも数々の事例がでてきております。義務教育学校へのすすめ方として、良い点や逆に反省点など、視察により聞けると思いますので、参考になるかと考えています。

委員 長： ありがとうございます。事務局の方から何かありましたらお願いします。

事務局： 先ほど明野地区の委員さんからもありましたように、学校の在り方について市民の皆様へ情報提供がまだまだ足りていないと実感したところがございます。今後はホームページ等において情報提供をしていくことを考えております。この学校の在り方検討委員会につきましても、資料や議事録などについて公開していけたらと考えております。また、次回以降の学校の在り方検討委員会は全体で考えるという

ことではなくて、地区協議会等を開催し課題の検討等しているその経過について情報共有する場として、定期的を開催していけたらと考えております。

委員長：　そういうことですので、よろしく願いいたします。ほかに何かございますでしょうか。では〇〇委員。

委員：　4月には先生の異動やPTA役員の変更等があり、なかなか進んでいかないところもあるかと思いますが、近隣の先進校視察をして、地域の人の意見を聞いて、進めていってください。お願いします。

委員長：　ほかに何かありますか。無いようですので、これで議長の職を解かせていただきます。ありがとうございました。

以上　閉会午後7時30分